

広告

130歳の石狩灯台

石狩市のカントリースサインに描かれている、赤と白のしま模様が特徴の石狩灯台。はまなすの丘公園(浜町)の隣に立っているのですが、見たことはありませんか？

初点灯は1892(明治25)年、今年でなんと130周年を迎えます！長きにわたり海の安全を守ることとはもちろん、石狩市を見守り続ける市のシンボリックな存在です。外周は何度も改修されています

が、中の壁や鉄板は1908(明治41)年の物がそのまま残っていて、現存する北海道最古の灯台です。灯台内部は通常見ることができませんが、今年は当協会が「航路標識協力団体」に認定されたため、内部の一般公開イベントを開催します(今月のイベントは7ページに)。秋にも予定していますので、ぜひお楽しみに♪

問(社)石狩観光協会 ☎62・4611

